

報 恩 寺 だ よ り

昭和50年7月10日

神奈川県高座郡綾瀬町寺尾889

おたすけ観音 報 恩 寺

電話 0467~78~7160

◎ お施餓鬼〜おそろいで お詣り下さい。

恒例のお施餓鬼を修行いたします。特に新盆（昭和49年7月〜昭和50年7月に亡くなられた方）の施主様は御参詣下さい。

※ 8月7日（木曜日） 午後0時30分 御 詠 歌
午後1時 法話 山田拙成老師
午後2時 大施餓鬼会

※ つけ施餓鬼回向料 1,000円 御希望の方は 7月25日
までに、担当世話人さん又は当山へ お申し込み下さい。

ご参考までに年回早見表は下記のとおりです。

回忌	1	3	7	13	17	23	27	33	50	100
年	昭和 49	昭和 48	昭和 44	昭和 38	昭和 34	昭和 28	昭和 24	昭和 18	昭和 元	明治 9

◎ 本堂屋根ふきかえ、客殿庫裏新築につきまして御協力を頂き、厚く御礼申し上げます。寄付金のお申し込み総額は、7月10日現在5,000万円を越えました。

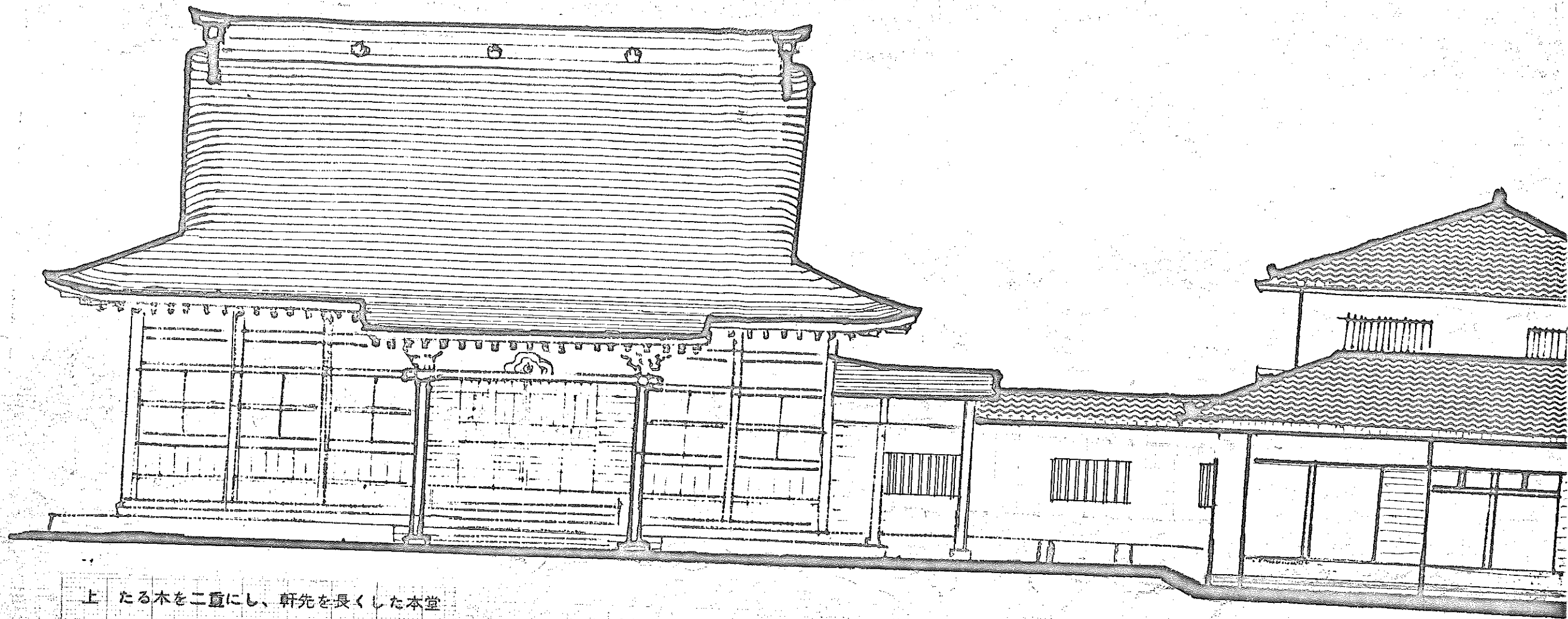
報恩寺本堂は昭和5年に着工し、二年がかりで完成しました。非常に不況の時期ではありましたが、四年に分けて寄付を頂き、近くのお寺に比較して、大勢の人に説教が出来るように、内部は広い設計ですが、屋根は予算の関係もあったと思いますが簡単に出来上っていました。

このたびの本堂屋根ふきかえに際して、先代の住職、皆様の先代の方々が建てられた本堂の屋根を二重だる木にして、完全な寺院建築に、次代を受けついで者として完成させたいと存じます。又客殿の設計について、先住の法弟で茶道に精通されている海晏寺老師、及び先住の知己で曹洞宗建築の第一人者、大本山永平寺監院の加藤黙堂老師に指導を頂けた事も、先住の遺徳と感謝しております。

◎ 特別御寄進

特別御寄進を被露申し上げて、各位の御芳志に感謝すると共に、供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

特別寄進



上 たる木を二重にし、軒先を長くした本堂

下 客殿 右 二階部分 庫裏

